

(令和6年2月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	2月の総入荷量は、気温の変動が激しく入荷もやや不安定となったものの、前年同月並みであった。総取扱金額は、きゅうりやりんご類が単価高で推移した一方、キャベツやほうれんそう等の葉菜類が単価安だったため、前年同月並みであった。今後は、暖冬で生育が前進し入荷に端境が生じている品目があることから、不安定な入荷が続くことが予想される。 3月は、近郷野菜では、菜の花が最盛期を迎え、たけのこや木の芽の入荷が始まる。果実では、中晩柑類やいちご類が最盛期を迎える。
野 菜	野菜全般の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。 根菜類の入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は7%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は13%下回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は5%下回った。 土物類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は7%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月並みであったが、単価は9%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で4%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 りんご類の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は30%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で9%上回ったが、単価は3%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は23%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	徳島、鹿児島、長崎を中心に神奈川、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で22%下回り、単価は6%上回った。
西洋にんじん	鹿児島、長崎を中心に愛知、熊本、兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は5%下回った。
【葉菜類】 はくさい	兵庫、長崎、宮崎、滋賀、鹿児島などから入荷した。入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は13%下回った。
キャベツ	愛知を中心に滋賀、兵庫、大阪、和歌山などからも入荷した。入荷量は干ばつの影響等により前年同月比で10%下回ったが、単価は業務需要が低かったため17%下回った。
ほうれんそう	福岡、京都、茨城を中心に滋賀、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は年明けからの安値が続いたため18%下回った。
レタス	徳島、長崎、兵庫を中心に岡山、愛媛などからも入荷した。入荷量は前年同月比で27%上回り、単価は27%下回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎を中心に高知、徳島、佐賀、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で6%上回ったが、単価は不安定な入荷で引合いが強まったため12%上回った。
なす	高知を中心に岡山からも入荷した。入荷量及び単価はともに前年

	同月並みであった。
とまと	熊本を中心に福岡、佐賀、三重、鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で7%上回ったが、単価は前年同月並みであった。
ピーマン	宮崎、高知を中心に鹿児島、韓国、沖縄などからも入荷した。入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道を中心に鹿児島、長崎からも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は7%上回った。
たまねぎ	北海道を中心に静岡、兵庫、長崎、中国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は21%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に福岡、香川、大分からも入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
伊予かん	愛媛を中心に和歌山からも入荷した。入荷量は前年同月比で３％下回り、単価は３％上回った。
不知火	和歌山を中心に愛媛、福岡、佐賀、鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で８％下回り、単価は１０％上回った。
富士 （サン富士含む）	青森を中心に岩手からも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は品薄感から引合いが強まったため３７％上回った。
王林	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で４４％下回り、単価は７％上回った。
いちご	福岡、大分、熊本、佐賀、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月比で９％上回ったが、単価は３％上回った。
アールスメロン	静岡を中心に高知からも入荷した。入荷量は前年同月比で５％下回り、単価は２２％上回った。